

スポンサー様

TERENGGANU WORLD JETTRACE CHALLENGE 2012

開催日

4月27・28・29日

出場クラス

Pro Runabout 4-Stroke Stock

Pro Runabout 4-Stroke Open

Endurance Runabout Open (75minutes+1 lap)

結果

・ Pro Runabout 4-Stroke Stock

Moto1: 1位

Moto2: 1位

Moto3: 1位

Moto4: 2位

・ Pro Runabout 4-Stroke Open

予選 2位

Moto1: 2位

Moto2: 6位

Moto3: 4位

・ Endurance (75minutes+1 lap)

1位

総合

Pro Runabout 4-Stroke Stock

1位

Pro Runabout 4-Stroke Open

3位

Endurance (75minutes+1 lap)

1位

去年、招待されて参戦したトレガヌのレースから 1 年が経ち、今年もトレガヌのレースに参戦してきました。今回のレース会場は去年とは変わり、去年は川でのレースだったのが今年海でのレースでした。また、今回はタイから”フラミンゴ”や”ptt”などの有名なチームがたくさん来たので、とてもレベルの高いレースとなりました。

レースは 2 日間によって行われ、1 日目に Moto#1.2.3 があり、2 日目に Moto#4 とエンデュランスが行われました。今回の使用艇は ULTRA300X で、全てのクラスをこの船で走り切りました。元々オープンクラスで使用予定だったファージング艇はこのレースにはセットアップが間に合わず、急遽 ULTRA300X でのエントリーとなりました。

Pro Runabout 4-Stroke Stock

このクラスは全 16 台でのレースとなりました。

Moto#1 はイン側からのスタートで、上手くスタートを決めてホールショットを獲りました!! 合流でも先に僕が前に出た為、ホームストレートを 1 位で通過しました。その後は後続艇をどんどん離していき、ぶっちぎりの 1 位でゴールでした。

Moto#2 もイン側からのスタートで、1 回目のスタートでは 2 位でホームストレートに戻ってきましたが、赤旗の為再スタート。次のスタートではホールショットを獲り、1 位でホームストレートへ。今回も Moto#2 同様 2 位以下を離していき、1 位でゴールしました。

Moto#3 でもインのホールショットで合流も 1 位でした。2 周目以降 2 位が 1 ブイ差で付いて来ていたものの、逃げ切ったので 1 位でゴールでした。

2 日目に行われた Moto#4 では、インの 2 位で合流では 3 位でした。レース中盤にさしかかった辺りで、2 位をバックストレートでアウトからまくって行って 2 位に浮上。ゴールまで 1 位にピッタリつけていましたが、抜く事が出来ずに 2 位でのゴールとなりました。

荒れた海面が得意な僕には、全ての Moto で一位になれなかった事が残念ですが、チャンピオンが取れた事自体には満足しています。もっと練習に励みます。

Pro Runabout 4-Stroke Open

このクラスはエントリー台数が 22 台いた為、予選が Heat#1 と Heat#2 に分けられて行われました。上位 7 台ずつと LCQ (敗者復活戦) での上位 2 台が決勝に進出し、計 16 台での決勝となりました。

予選の Heat#1 ではアウトの 2 位で合流では 3 位でした。次の周で 2 位を抜いて 2 位に浮上しました。その後は 1 位を追いかけ続けたものの、抜く事ができずに 2 位でのゴールとなりました。一位艇は、昨年のハバスから調子が良い新型の SEA-DOO RXP-X ターボ(ジェームス・ブッシュ艇)です。カーボンハルなのですが、荒れた海面でも速く走らせる様で、とても強敵です。

Moto#1 ではアウトのホールショットで合流では 2 位でホームストレートを通過しました。

この時の 1 位の艇は Heat#1 の時も 1 位だったジェームズ・ブッシュェルのターボ艇で、今回も 1 ブイ差も無く付いて行けたものの抜く事ができずに 2 位でのゴールとなりました。

Moto#2 ではインの 3 位で合流でも 3 位でした。しかし 3 周後の 2 位争いの最中にバックストレートで 2 位を追い抜こうとしたところで、変な引き波にスポンソンが引っかかってしまい全開でスピン。そして足が離れて落水し水面に叩きつけられました。そこからは全力で泳ぎ、マーシャルが着く頃には船に乗りこんでまた追撃を始めました。しかしこの頃には最終艇になってしまっていた為 1 台ずつ追いついていき、6 位でのゴールとなりました。非常に悔やまれるレースですが、攻めのレース結果なので、反省はしていますが、とても良い勉強になりました。

2 日目の最後のレースとなった Moto#3 では、インの 2 位で合流では 3 位でした。その後は 2 位を追い続けたもののなかなか抜く事ができませんでした。レースも中盤に差し掛かったところで 1 位から 5 位までがそれぞれ 1 ブイ差につけての団子状態になりました。この時辺りから突如僕の船が減速をあまりしなくなり、ターンのコントロールが難しくなりました。その為、ミスブイを犯してしまい、イレイザーブイを回ることにより、順位を落としてしまいました。何かがおかしいと思いスロットルを注意して見たら、ワイヤーが最後まで戻らずに 4000 回転以下に下がらなくなっていました。その結果 5 位まで順位が下がってしまいました。コーナリングに気をつけながらも 4 位に付いていき最終ラップで抜いて、4 位でのゴールとなりました。

フィニッシュ後、メカニックに確認してもらったら、アクセルワイヤーが伸びてしまい、アクセルが戻りきらなくなったそうです。プロオープンクラスでは、総合 2 位が見えていただけに残念な結果ですが、Moto1 の 2 位が良い方に響き、総合で 3 位につける事が出来、表彰台を逃さずに済みました。

Endurance R/A Open

エンデュランスは去年のメラカ（マレーシア戦）でも優勝できたので、今回も優勝する自信はありました。スタート方法は、艇のホルダーは無しで、各ライダーがそれぞれ自分の船の前に立って船が動かないように抑え、合図とともに乗りこんで、エンジンスタートし、スタートするという少し変わったスタート方法でした。エントリーは 40 台近くあったので、浜辺にはズラッとレース艇が並んでいました。コースは 1 周約 10km のハート形のコースでした。

合図とともに各ライダーが船に乗りこんでスタートをし、僕は 3 番目ぐらいの早さでエンジンをかけてスタートしました。まず 2.5km 先の、目でははっきりと確認できない程の 1 つ目の黄ブイに向かっていきます。1 ブイまでの途中、波で跳ねてしまっていた間に何台かに抜かれてしまいましたが、また抜き返して 4 位で黄ブイを 180 度折り返します。その後はまた 2.5km 先の赤ブイに向かって進み、赤ブイを 90 度近く曲がって次の 2.5km 先にある 2 つ目の黄ブイに向かってまたひたすら走ります。黄ブイを 180 度曲がった時点で 2

位まで浮上し、その後は1位を追いかけました。2つ目の黄ブイからまた2.5km進むとホームストレートに帰ってきて、次の周に入っていました。この時点で1位から5位までを全てULTRAが占めていました。レース海面がウォッシングマシーン（洗濯機）状態の荒れた海面だったので、ULTRAの性能が発揮されたのだと思います。実際、ULTRAに乗っている僕でさえ、跳ねまくって、艇がどこへ行ってしまおうのかわからない状態が続いたので、SEA-DOOとYAMAHAは相当辛かったと思います。2周目に入ってからもしばらくは2位だったのですが、1位がガソリン給油でピットインしたのをきっかけに、給油作戦で1位に浮上しました。そして僕は45分経ったところでピットからの合図を受けて、次の周にピットインします。クルー達の敏速な給油のお陰で1位のままコースに復帰する事ができました。それから2位が常に見える位置にいましたが、最後まで距離を保ったまま逃げ切る事ができ、今回のエンデュランスも優勝を飾る事ができました。

レースを終えての感想

今回のレースも怪我一つ無く無事にレースを終える事ができました。また、ドバイの開幕戦ぶりの優勝なのでほんとに嬉しかったです!! オープンではあの落水がなければ総合2位だったので、今後はこのようなミス無くしていきたいと思います。次回のレースまでには今回の良かった点は更に伸ばし、悪かった点は改善できるように練習に励んでいきたいです。

次回のレースはJJSFの第2・3戦を予定しています。全日本では初めてのプロクラス参戦なので、どのような結果になるのかは想像が付きませんが悔いの残らないように全力を出し切って走りたいと思います。

今後とも応援の程宜しくお願い致します!!





Team WPS Japan
小原 聡将